

書は身を助く



歯周病に関する成書が数多存在する中、臨床家にとって本当の意味で「テキストブック」たり得る書が「ラタイチャーク カラーアトラス歯周病学」だ。私自身、診査、診断、治療計画、治療から予後の評価までステップバイステップで示された多くの症例、質の高いドキュメンテーション、簡便だが必要な診査項目が集積された歯周組織検査表の使用法等、臨床歯周病学のテキストとして非常に大きな影響を受けた。



本邦において現代歯周病学の教育が十分に確立されていなかった時代、教えを請うた海外の専門家とともに多くの成書が私の歯周病学の「先生」であった。1973年に出版されたフリーチャード「歯周治療学 Advanced Periodontal Disease」(近代出版)、79年「ロールドマン「歯周治療学 Periodontal Therapy」(医歯薬出版)、81年「シュルガー「最新歯周治療学 Periodontal Disease」(医歯薬出版)。70年代後半から80年代前半にかけて、これらは歯周病学の基礎的な知識に対する渴望を満たしてくれる、まぎれもない名著だった。「ラタイチャーク カラーアトラス」

歯周病学を「完璧に」包括

医療法人社団日吉歯科診療所 理事長 熊谷 崇

「ラタイチャーク カラーアトラス歯周病学」と出合ったのは、英語版が出版された85年のことだ。第1版に当時ワシントン大学歯周病科教授だった Robert Genco、Myron Nevins、Michael McGuire、Daniel Buser、他、米国とヨーロッパ、そして研究者と臨床家を問わず、多くの著名な専門家が名を連ねている。Pageは更(こう)述(じゆ)する。

「本書は生物学、病因論、免疫学、疫学、診断学、治療学、サポータイプセラピーそしてメインテナンスなどを完璧に網羅している」

それまでの成書にはない豊富な写真によって、初診からメインテナンスまでの臨床現場に立ち会っているかのごとく理解できると同時に、単なる歯周治療、外科治療の「How To Book」の類に留まらず、「完璧に」歯周病学を包括している内容に驚愕したものだった。この本を読んだ私の知識は整理された。

その後、多くの友人、後輩達に本書を薦めてきたが、本邦では永末書店よりの第三版が出版されている。第三版の最終頁には著者が特に感謝を示す貢献者の写真が掲載されており、Jan Lindh、Per Axelsson、Robert Genco、Myron Nevins、Michael McGuire、Daniel Buser、他、米国とヨーロッパ、そして研究者と臨床家を問わず、多くの著名な専門家が名を連ねている。Pageは更(こう)述(じゆ)する。

「今日、保守的外科治療もしくは積極的外科治療のどちらがいか多くの議論がなされてきたにもかかわらず、いかなる学派に対しても隔たることなく、完全に客観的な立場をとっている」

ワールドスタンダードな歯周病治療を実践する臨床家にとって欠かせない一冊である。

◆ラタイチャーク カラーアトラス歯周病学 第3版、Herbert F. Wolff, Edith M. & Klaus H. Rateit schak 著(永末書店)